

ティーンズだより

みどりの翼 Vol. 11

特集

タイムマシン

◎とびっく◎

ティーンズコーナーからのお知らせ

- ・ 洋書ふえました
- ・ 表紙イラスト募集
- ・ 夏の感想文おすすめ本
- ・ 芝居＆講演会

Read me! 「特集★タイムマシン」

図書館トリビア「本のココは？」

図書館トリビア

『本のココはなんてい？』



じりじり暑くなってしまったね。第2回目は、本の部分の名前です。私たちの体の部分に、手や足や顔（鼻や目や口も）と名前があるように。本の部分にも名前があります。

まずは外側から。本の上と下の部分を「天」「地」と言います。そして本を開く方の部分を「小口」、「背」は聞いたことがあるのでは？表の表紙のことを「平」。本全体の厚みを「束」と言います。平と背の間に開きやすいようについているのは「溝」です。

「紙」をもう一枚めくると、タイトルのあるページが出てきます。これが「扉」です。扉をあけて・・・物語が始まる！と言うかんじです。また、本を開いたとき綴ってある部分を「喉」と言います。「花布」は天と地の背に付いたところにある布で、腐食や本を取り出すときに傷がつくのを防ぐ為の布なんだとか。けっこう考えられて作られているわけなんですね。

では、次回をお楽しみに！！

「みどりの翼」 Vol. 11

発行日：平成 17 年 7 月 23 日

発行：田原市図書館

〒441-3421 田原市田原町汐見 5 番地

TEL 0531-23-4946 FAX 0531-23-4646

<http://www.city.tahara.aichi.jp/>

section/library

では、開いてみましょう。

開いてまずあるのが「見返し」です。見返しには2種類あって、表紙側が「書き紙」中側が「遊び」です。そして「遊

☆この本読んで！休みます

みんなが答えてくれたアンケートを毎回紹介していましたが、今回は、夏休み前の『みどりの翼』ということで、ティーンズコーナーの紹介や、8月の講演会のお知らせ紙面にしたいと思います。

* 4月から6月におすすめ本を紹介してくれたものは、次回V o 1. 12で紹介します。お楽しみに...

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ティーンズコーナーからお知らせ！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

★其の一：洋書が増えました。★

ティーンズ棚8番 辞書や仕事の本がおいてある棚に、洋書（主に英語）の絵本や小説が増えました。パラパラみるもヨシ、翻訳された本と読み比べても樂シ・・・是非、手にとってみてください。

★其の二：表紙イラスト募集★

次号の表紙イラストをまたまた募集します。毎月カラフルなイラストで掲示板が飾られるのを楽しみにしていますが、みなさんの楽しいイラストをこの『みどりの翼』でも紹介したいとおもいます。募集の紙は、掲示板の前におきます。テーマは、自由！ティーンズだよりにふさわしいイラストをお待ちしています。

★其の四：芝居&講演会あります★

ロバート・ウェストール原作『弟の戦争』のお芝居が、8月19日（金）午後6:30～田原市文化会館アリーナ（体育館）あります。

ウェストールの作品は、戦争をテーマにしたものが多く、この本の世界観がどのように芝居で表現されるのか。。。噂では、戦場の臨場感たっぷりの芝居みたいですヨ！興味のある方は是非、ご覧ください。

前売りチケット

大人¥1000

高校生以下¥500

そしてもう一つ、8月21日（日）2時からは、金原瑞人さんの講演会があります。（場所は201会議室）金原さんと言えば、数々の本を翻訳している有名人！世界中の有名な本をさがす名人！図書館にも150冊以上の翻訳本があります。8月の末まで、図書館入り口で展示していますので、一度みて下さい。

この機会に、金原さんに会って、翻訳のこと、いろんな事を聞いてみよう！

*芝居のチケット、講演会の整理券は図書館のカウンターで扱ってます。

★其の三：夏休みおすすめ本★

ティーンズ壁書架の一番児童室にちかい場所、いつも小さな絵本や、ティーンズ雑誌の最新号がおいてある棚を夏休みの期間一部分ですが、「夏の感想文おすすめ本」として、テーマ展示をしています。毎年恒例の読書感想文に困ったら、このコーナーで、素敵な本を見つけてみてはいかがでしょうか、。

図書館がオススメするすてきな本

Read me ! タイムマシン

ひとつのテーマに沿って図書館の本たちをご紹介します。

今回のテーマは「タイムマシン」です！H・G・ウェルズが『タイムマシン』というSF小説を書いたのが、1895年。AINシュタインが、特殊相対性理論を発表したのが、1905年。未来や過去の世界にいける夢の乗り物は、将来実現可能なのでしょうか？・・・2005年の夏、本の中で、タイムマシンを体験しよう！

「タイムマシンをつくろう！」

ポール・デイヴィス//著 林一//訳 草思社
2003年 421/デ ティーズ・一般

タイムマシンをつくるときいて乗り物を想像してしまうのは文系頭でしょうか？物理学の法則にそって考えていけば、つくれる可能性がある空間？について真

面目に語ってます。

10億分の1兆分の1兆分の1センチメートルなんて単位がイメージできる人は、理系頭かもしれません。スケールでのかい話についていけたら、あなたはもう物理学者！

「影の王」

スザン・クーパー//作
井辻朱美//訳 小西英子//絵 偕成社
2002年 933/ク ティーズ

大好きな、尊敬している人に会えるなら、あなたは誰に会いたいですか？シェイクスピアの芝居に夢中なアメリカの少年、ナット

ト・フィールド。お芝居「真夏の夜の夢」の公演先ロンドンで400年前に突然タイムスリップ！お風呂も、電気もない中世にきたナットの活躍に注目！芝居を愛する気持ちが伝わる一冊です。

「マンガ 超ひも理論」

廣瀬立成//原作 大谷匠司//著 PHP研究所
2004年 421/ヒ 一般

超ひも理論って聞いたことはあるけど、ひもって何だ？と思った人はいませんか？超ひも理論が予測するのは、10次元の世界なのです。

ってことは、いま見えている4次元の世界とは別の世界が存在するって事で。。。人間が経験した中で最大の科学革命になるだろう」と言われている大注目の理論をマンガでさらっと世界一わかりやすく教えてくれる一冊です。

「イタリアののぞきめがね」

エリナー・ファージョン//作 石井桃子//訳
岩波書店 1970年 933/フ ティーズ

科学的なタイムマシンの話は、どーもという方にメルヘンチッ

クなタイムマシンのお話をひとつ。子ども達にお話をつくってきかせている本のなかに自分も入り込み、ゆっくりした時間の流れに身をさせてみませんか？タイムマシンはでてこないけど、おはなしを読んでいる私はどんな世界にもいける気分。な一冊！

「ユリティケ」

遠藤文子//作 宇野亜喜良//絵
理論社 1993年 913/エ ティーズ

ある日、貴方は2000年前にいた伝説の人の生まれ変わりだと言われたらどうしますか？自由気ままに暮らしていた主人公が20歳になって突然つきつけられる運命。2000年前の予言に従い、伝説の剣を探しにいかなければなりません。。。当然、信じずに嫌がるのですが、主人公の意思とは関係なく、危険はせまってきて。。。

「タイムマシン」

H・G・ウェルズ//作 雨沢泰//訳

新紀元社 1998年 933/ウ 児童

時間を旅することができる変わった材料でできたタイムマシンを作り上げたタイムトラベラー。そのタイムトラベラーが体験してきたことを心理学者、医者、編集長といった面々が聞いて綴った物語。時間を旅してたどり着いた未来ではイーロイ人とモーロックス人が対立中！？タイムトラベラーと一緒に未来を体験してみませんか？

「2063年、時空の旅」

クリフォード・A・ピックオーバー//著

青木薫//訳 新紀元社 2000年

421/ピ 一般
タイムトラベルって実際にできる可能性があると思いますか？一般的には時間を遡ったり進めたりすることは不可能だといわれています。でも、できたら便利だと思いませんか？この本は、どうすればタイムトラベルが可能

になるのかを探るために、粒子の流れや時空の歪みといった様々なことをみています。読んでいて、頭が痛くなりそうな理論の説明だけではなく、物語としての説明も含まれているので、おもしろく読める一冊です。

「トムは真夜中の庭で」

フィリパ・ピアス//作 高杉一郎//訳

岩波書店 2000年 933/ピ ティーンズ

退屈でなかなか眠れないトムは、真夜中に時計が鳴るはずのない13回目を打つのを聞きます。時間で確かめようと一階に行ったトムがみたのは、今までなかったさまざまな家具がおいてあるアパートのホールと、あるはずのない美しい庭園でした。でも、すぐに家具は消えていつもどおりのホールにもどってしまい・・・。これは幻？夢？？

「落ちてきた時間」

たからしげる//著 パロル舎 2003年

913.6/タ

ティーンズ・一般

短編集。「時間小屋」より。ある日、よぼよぼのおじい

さんに声をかけられた高志。高志は小学六年生なのに、おじいさんは自分がクラスメイトの大輔だと言います。始めはクラスメイトのおじいさんにからかわれていると思っていたのですが、どうやら本当のようです。ダンボールで出来た小さな小屋で遊んでいたために、年をとってしまったらしいのですが・・・はたして、大輔は子どもの姿に戻れるのでしょうか！！？

他にも、未来の自分に命を救われる少女など、時間にまつわる不思議なお話が全部で九つ入っています。

「AINSHUTAINが考えたこと」

佐藤文隆//著 岩波ジュニア新書 1981年

421/サ ティーンズ

相対論の考え方では、光に近い速さで動くと時間がのびるそうです。例えば、光ぐらい速いロケットに乗って宇宙旅行してきたとします。乗っている人の時間で一年間だとすると、地球では実は二年四ヶ月たって帰ってきたことになるのだと。これができるなら、ちょっとしたタイムスリップですよね。ただし未来行き限定の。特殊相対論が発表されて100年目の今年、天才AINSHUTAINの人生をたどってみるのはいかが？（理論は難しいかもしれません）

★その他のタイムマシンの本★

- 「時の旅人」 アリスン・アトリー//著 評論社 1980年 933/ア ティーンズ
- 「図解雑学 タイムマシン」 福江純//監修 ナツメ社 2003年 421/タ 一般
- 「はじめりの卵の物語」 坂東真砂子//著 理論社 1997年 913/バ ティーンズ
- 「夏への扉」 ロバート・A・ハイライン//著 早川文庫 1979年 933.7/M 一般
- 「タイムライン」「コンタクト」「雷のような音」「タイムケーブ」 e + c ...

★もっと調べてみたい人・ほかの本を探したい人へ★

図書館では調べものや本を探すお手伝いをしています。カウンターなどで気軽に声をかけてね！ *次回のテーマは「芸術」です。